

平成 29 年 4 月 19 日

平成 29 年度物流連 大学寄附講座スタート 青山学院大学経営学部・首都大学東京都市教養学部において春学期の大学寄附講座はじまる 今年度は 4 大学（青学、首都大、横国、法政）で開講

一般社団法人日本物流団体連合会（工藤泰三会長）は、春学期の寄附講座を 4 月 17 日（月）から青山学院大学 経営学部で開講した。

青山学院大学 経営学部における寄附講座は、楠由記子准教授がコーディネーターを務め「現代の物流機能と経営」の講座名で開講した。4 月 17 日（月）第 1 回目の講義では、当連合会事務局長 村上敏夫が講師を務め、物流の構成要素や物流発展の推移、国際物流の動向について「物流総論」をテーマに解説した。今後もテーマごとに各企業から業界を代表する講師が計 14 回の講義を行う。（受講登録学生 約 200 名）

また 4/18（火）には首都大学東京都市教養学部経営学系（コーディネーター 高橋勅徳准教授）においても同様の内容で寄附講座がスタートした。（受講登録学生 約 250 名）

平成 7 年度より開講している本寄附講座を受講した学生は、12,000 名を超え、講師自らの体験を踏まえた講義は大学・学生に好評を博しており、10 月からは秋学期の寄附講座の開講が横浜国立大学経営学部および法政大学経営学部で予定されている。

また、例年同様物流連会員企業の若手社員の聴講も青山学院大学、首都大学両校のご厚意により受け入れている。



以上